

「しばらくの間、ミサ参加、ご無理なさらないように」

清川 泰司神父

大阪府の、新型コロナウイルスの重症病床の使用率が70%に達しようとしています。大阪府は、府民に対し今月15日まで不要不急の外出の自粛を要請しました。

現在、大阪教区大司教は、大阪教区内の公開ミサ中止の要請を出していません。ただ、大阪教区のすべての信徒の「主日」と「守るべき祝日（主の降誕の祭日と神の母聖マリアの祭日）」のミサにあずかる義務を免除しています。ゆえに、ミサの参加については、信徒一人ひとりの判断に委ねられています。

この状況の中、信徒の皆さんには、医療危機を鑑み、しばらくの間、ご自分の事、また他者の事も考えていただき、特に、ご高齢の方、基礎疾患のある方は、ミサへの参加を控えていただきたいと思っております。

司祭は、参加できない信徒の信仰と繋がり、万物に恵みをそそぎ続けてくださる神への感謝と、全ての人、万物の救いの為に、ミサをささげます。ご安心ください。それぞれの場で祈りましょう！